(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2026 年 8 月 14 日
第 2 版作成

2017 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の間に
当科において腹部 MRI 検査を受けられた方及びご家族の方へ

―「MRI を用いた膵管内乳頭粘液性腫瘍併存膵癌発生の risk factor の検討」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	放射線診断学	講師	神吉　昭彦
研究分担者	機能・代謝画像診断学	レジデント	佐藤　佑樹
	放射線診断学	講師	八十川　和哉
	放射線診断学	講師	檜垣　篤
	放射線診断学	准教授	山本　亮
	放射線診断学	教授	玉田　勉
	機能・代謝画像診断学	教授	福倉　良彦

１．研究の概要

膵管内乳頭粘液性腫瘍は膵管内に乳頭状に増殖する膵腫瘍です。良性から悪性まで様々な段階があり、経過中に悪性化することがあります。膵癌の発生を常に留意した診断を行っていくことが重要であり、画像診断による膵管内乳頭粘液性腫瘍併存膵癌の危険因子を解明することは臨床的に非常に重要であります。今回は MRI 画像を用いて、膵管内乳頭粘液性腫瘍併存膵癌の発生危険因子について検討します。

２．研究の方法

1）研究対象者

2017 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において腹部 MRI の検査を受けられた方を研究対象とします。

2）研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 8 月 31 日

3）研究方法

2017 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において腹部 MRI の検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに膵管内乳頭粘液性腫瘍のデータを選び、MRI 画像所見に関する分析を行い、膵癌出現の危険因子について調べます。

4）使用する情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、MRI データ　等

5）情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学放射線診断学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028 年 4 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学附属病院　放射線診断科
氏名：神吉　昭彦
電話：086-462-1111　内線 44298（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）
ファックス：086-464-1123
E-mail：ponbon@med.kawasaki-m.ac.jp

３．資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。